

外交史B

科目ナンバリング INR-304
選択 2単位

山口 航

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では、第二次世界大戦後の米国外交に焦点を合わせ、外交史の基本的な流れを論じていきます。外交の基本的なしくみや課題、関連する時事問題などを幅広く学びます。理解を深めるために映像資料も使います。

2. 授業の到達目標

- 1) 外交史の基本的な知識を得る。
- 2) 外交史を多角的に分析することができるようになる。
- 3) 今日の外交の諸問題をより深く理解することができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- 1) 平常点30%(コメントなど)
- 2) ブック・レポート20%(教科書『戦後アメリカ外交史』331-353頁で紹介されている書籍を1冊読み、1000字程度で内容の要約をした上で、1000字程度でその内容について論じてください(合計2000字程度)。書籍のタイトルを明記して、LMSで提出すること)
- 3) 期末試験 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

佐々木卓也編 『戦後アメリカ外交史[第3版]』 有斐閣、2017年

5. 準備学修の内容

教科書の該当箇所を読んでください。

より深く学びたい人は、参考文献(適宜授業中に紹介します)も読んでください。
継続してニュースに接する習慣を身につけてください。

6. その他履修上の注意事項

ノートをしっかり取ってください。

外交史Iも受講すると理解が深まると思います。

時事問題との関連にも言及していくため、授業の計画の変更もあり得ます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 戦後外交の起点——ローズヴェルト |
| 【第3回】 | 戦後外交の起点——トルーマン |
| 【第4回】 | 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——アイゼンハワー |
| 【第5回】 | 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——ケネディ |
| 【第6回】 | 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——ジョンソン |
| 【第7回】 | パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——ニクソン |
| 【第8回】 | パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——フォード |
| 【第9回】 | パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——カーター |
| 【第10回】 | 冷戦終結外交と冷戦後への模索——レーガン |
| 【第11回】 | 冷戦終結外交と冷戦後への模索——G. ブッシュ |
| 【第12回】 | 新しい秩序を模索するアメリカ外交——クリントン |
| 【第13回】 | 理念外交の軍事化とその帰結——G. W. ブッシュ |
| 【第14回】 | 混迷する世界情勢と転換期のアメリカ——オバマ |
| 【第15回】 | まとめ |